

平成 23 年度事業計画書

(財) 仙台応用情報学研究振興財団

応用情報学に関する学術、技術の研究開発を推進し、かつ研究開発の成果の公開と人材の育成を図り、もって宮城県の産業の振興発展と県民の福祉の向上に寄与することを目的として、平成 23 年度は下記の事業を行う。

[公益目的事業]

1. コピキタス農業に資するコンテンツ収集・利活用に関する実践的基盤技術研究開発 (総務省 SCOPE 研究開発事業)

農村地域に高速無線 MAN/LAN を設置し、次の技術的課題を解決することにより、ICT 利活用型の農商工連携サービス・ビジネス(コピキタス農業)の創出を目指す。

- (1) ユーザのニーズ・サービス用途・マルチメディアデジタル情報源の種類と性質に応じて最適化されたネットワーク(情報通信メカニズム)に関する研究開発
- (2) 低コスト・高操作性の高品質コンテンツ獲得機構と高付加価値サービス創成機構に関する研究開発

当研究開発事業の成果が農業を抱える郡部地域の住民の生活安定に寄与するものであることから、公益目的事業として位置づけ実施する。

2. 地域医療連携パス構築支援事業

携帯端末等の ICT を活用することにより、地域の急性期医療機関、回復期医療機関、在宅医療・看護施設間での情報共有の仕組みを提供し、患者の健康状態を考慮した最適な医療サービスを実現するための地域医療連携パス構築支援を行う。

当事業は地域医療サービスの質向上に資する事業であることから、公益目的事業と位置づけ推進する。

3. 応用情報学に関する優れた研究・論文に対する顕彰

応用情報学分野の研究者を育成する事業の一環として行う。

(社) 情報処理学会と連携し、次の顕彰を行う。

- ・情報処理学会東北支部大会の優秀論文の顕彰
- ・情報処理学会 DPS 研究会(マルチメディア通信と分散処理研究会)の優秀ソフト作品の顕彰

4. その他研究活動等への支援

直接的あるいは間接的に公益に寄与するという認識のもとに、当財団の役員、研究員による以下の研究活動等への支援を引き続き行う。

(1) ソフトウェア関連技術の研究

先端的なソフトウェア技術に関する調査研究

(2) ソフト系 ICT 分野における地域活動への支援

ソフト系 ICT 分野における地域活動への支援を行う。地域の産学連携組織（東北 IT 産業推進機構、会員以外の参加も求めている公益性のある事業）の事務局機能等を含めた支援を行う。

(3) ICT 利活用に関する地域活動への支援

- ・地域中小企業活性化支援
- ・ICT 利活用に関するセミナーの開催

[収益事業]

1. 収益事業案件の積極的な受注活動の推進

公益目的事業の遂行および当財団の運営維持のため、企業、団体に対し、委託調査等収益事業案件の受注活動を積極的に展開する。

[その他事業]

1. 「学会」事業の推進

平成 23 年度も引続き地域の先端的技術分野におけるスタートアップ企業等の若手を含む研究者・技術者に対する支援を行う。

2. 新しい光デバイス研究のためのシミュレーション技術の開発を行う。

以 上